

ジャパン・レターアーツ・フォーラム主催ワークショップ
レターカッティング入門 経験者（3回目）コース

■ 講師 ゴードン恵美

■ 会場

●大阪会場 弁天町市民学習センター 美術室（大阪市港区）

<http://www.osakademanabu.com/bentencho/>

●東京会場 勤労福祉会館 工芸室・美術室（豊島区池袋）

http://www.toshima-mirai.jp/center/e_kinrou/page.html

■ 開催日時

大阪 2012年7月14日（土）～7月16日（月・祝）

東京 2012年7月20日（金）～7月22日（日）

レッスンの時間 両会場共に 10:00 ～ 16:30

■ 参加費 32,000 円

■定員 各会場につき 15 名

大阪・東京いずれの会場でもご参加いただけますが、クラス内での相乗効果を考慮しますと、大阪会場へのご参加をお勧めいたします。

■ 申込方法

e-mail のみの申込みとし、必要事項を記入したメールを下記アドレスにご送信ください。パソコンからのメール受信可能な状態であれば、携帯電話のメールでの申込みも可能です。

1) 件名に、「ゴードン恵美 WS 東京会場」又は「ゴードン恵美 WS 大阪会場」と記入して下さい。

2) 本文に、氏名(ふりがな)、住所、電話番号、連絡を希望するメールアドレス、「経験者（3回目）」と明記して、選択した宿題の番号を記入。

*お申込みにお送りいただいたメールには自動返信メールが送信されます。届かない場合にはご連絡ください。

■ 申込締切日 5 月 27 日(日)

但し、定員に空きがある場合には、その後の申込みも受付けます。空きの有無は J-LAF ウェブサイトでお知らせします。<http://j-laf.org/>

■ 送信先 workshop@j-laf.org (WS に関する質問、ご意見もこのアドレスまで)

■ 持ち物

レイアウトパッド、ペーパータオル 1 ロール、カッターナイフ、HB の鉛筆 2 本、カラダッシュ(CARAN d'ACHE)社の水彩用色鉛筆の白を 2 本(入手できない場合は、日本製の水彩用鉛筆でもかまいません) 定規、三角定規、セロテープ、マスキングテープ、エアパッキンまたはプチプチの包装用ビニール(石を保護するため) 100 cm x 100cm を 2 枚、シャコ万力 x 2 最大口開きが 100 mm (または B 型クランプ <http://www.monotaro.com/c/027/117/>) 紙ヤスリ(耐水サンドペーパー)、鑿(チズル)、ダミー(ハンマー)

これまで作成した石の作品(写真可ですが、実物をご持参いただくと参加者全員がより深く学べます。)

■ ゴードン恵美 プロフィール

1995 年にカリグラフィーを東京で習いはじめる。翌年、トーマス・イングマイヤー氏のワークショップを受け、海外でカリグラフィーを学ぶ事を決意する。2 年の準備期間を経て、97 年に渡英、98 年にローハンプトンのカリグラフィー・ディグリー(学位)コースに入学する。2001 年にこのコースを卒業後、2002 年にケンブリッジにあるレターカッティング工房であるカードゾ・キンダスリー・ワークショップ(Cardozo Kindersley Workshop)に入門する。2006 年に長女出産のため退職するまでの 4 年半勤務する。現在は独立してレターカッティングとカリグラフィーの仕事続ける。2002 年、CLAS の Brian Walker 賞受賞、同年から 2004 年まで SSI の Advanced Training Scheme のコースに参加。その他多数のカリグラファー、レターカッティングのワークショップやレクチャーに参加。

■ クラス概要 (経験回数によって、課題・宿題の内容が異なりますのでご注意ください)

石に手彫りで字を彫るレターカッティング "Letter Cutting" (またはレターカービング "Letter Carving" と呼ばれる) は、現在も英国国内だけではなく、ヨーロッパの国々で続けられている伝統工芸です。この入門コースではヴィーカット "V-Cut" と呼ばれる彫り方で文字を彫ることを学びます。このヴィーカットは、ローマ帝国時代に既にその手法が確立され、当時の碑石に使われていたローマキャピタルの文字のほとんどはこの彫り方で彫られています。

イギリスではエドワード・ジョンストン（1872－1944）の教え子だったエリック・ギル（1882－1940）がそのローマ時代の伝統的手法を彼の石碑の作品に多用し、彼のワークショップで培われたレターカッティングの精神、技術、そして教法は彼の弟子達を通じて今なお多くの職人の中に息づいています。この入門コースはそのギルの弟子であったデービッド・キングダスレー（1915－1995）の教法で主に進められます。

また、コース内では文字のレターフォーム、デザイン等を参加者同士で検討し合うクリティーク（Critique）と呼ばれるローハンプトン大学で採用されていた教法を導入し、生徒それぞれの作品をさまざまな側面から向上を目指すとともに、作品作りにおける生徒の自発性を伸ばしていきます。

■経験者（3回目）コースの概要

前回までの内容を踏まえ、個々のニーズに合った作品を作る際のデザインポイントや問題点への対策、そしてストーン・カッティングの新たな技術を導入します。

■経験者（3回目コース）の目的

個々の作品をより深いレベルで探求し、繊細なおかつ複雑な彫る技術を身につけ、表現の幅を広げます。

■ 経験者（3回目）コースの内容

- 1日目 デザインのクリティーク後、デザインの調整
- 2日目 彫る作業
- 3日目 仕上げとクリティーク

●経験者（3回目）コースの宿題（下記のうちから選択して下さい）

1. 宿題なし。前回のワークショップで下書きしてから、全く、もしくはあまり彫り進んでいないので、ワークショップでは前回の石を持参して彫るのを続けたい。
2. 自分で彫りたい石を探し、仕入れてその石に合ったデザインをレイアウトペーパーに描いて来て下さい。石は基本的にはどんな石を使ってもかまいませんが、御影石（英語では Granite）は硬すぎて手彫りには向いていませんので、それ以外の石、例えば、大理石、スレート、砂岩（英語では Sand stone）、石灰石（英語では Lime stone）などをお勧めします。

*彫りたい石によって用意していただく持ち物が多少違ってきますので、どんな石を使った作品を作るかを必ず講師宛にご連絡ください。ご連絡いただけない場合は希望の石を彫る事ができな

い場合があるかもしれませんので、よろしくおねがいします。

講師連絡先：emi@tsukusidesign.com

■ 道具貸し出し

道具をお持ちでない方には、鑿とダミーと呼ばれるハンマー、そして鑿を研ぐための砥石は貸し出しいたします。ワークショップ終了後にお持ち帰りになりたい方には、鑿とダミーについては、実費にて（2つ合わせて約1万5千円）お分けできます。

* 参加者決定方法やキャンセルに関する詳細はウェブサイトをご覧ください。 <http://j-laf.org/>